

# 応援職員情報誌

# KAKEHASHI



## INDEX

### I 応援職員のご紹介

- (1) 宮古市 . . . . . p2
- (2) 大船渡市 . . . . . p3
- (3) 陸前高田市 . . . . . p4
- (4) 釜石市 . . . . . p5
- (5) 大槌町 . . . . . p6
- (6) 山田町 . . . . . p7
- (7) 田野畑村・野田村 . . . . . p8

### II 特集

お元気ですか?～あの方は今～ . . . p9

＜H28年度総集編＞

発行:岩手県政策地域部市町村課



【H28.5 宮古市】  
復興たろう大漁まつり

【H28.6 大船渡市】  
客船「飛鳥Ⅱ」が大船渡港に入港



【H28.7 陸前高田市】  
高田スマイルフェス2016



【H28.9 大槌町】  
大槌まつり



【H28.8 釜石市】  
第28回釜石よいさ



【H28.10 山田町】カキ小屋懇親会



【H28.11 田野畑村】  
田野畑ウォーキングイベント



【H28.12 野田村】  
野田ホタテまつり



- ①高橋 大樹  
(たかはし ひろき)
- ②青森県八戸市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④産業振興部水産課漁港係  
(漁港災害復旧事業の設計・監督)
- ⑤入庁して4年目、最初の異動が宮古市役所となりました。新しい環境での生活、初めての業務と大変ではありますが、優しく頼りになる先輩方のおかげで、充実した時間を過ごせています。1年間という限られた時間の中で、岩手県の素晴らしさを満喫するとともに、復興に少しでも貢献できるように邁進していきたいと思いを



- ①志賀 紀美  
(しが ことみ)
- ②東京都品川区
- ③H28.4.1  
～H29.3.31

④水産課  
⑤宮古市では水産課に配属となり、水産物消費拡大の担当をしています。品川区にはない部署のため、慣れない仕事や言葉と戸惑う日々でしたが、職場の方達にとっても親切にいただき楽しく過ごしています。宮古市の水産業に携われる事は、品川区にないからこそ毎日が貴重な経験です。お世話になっている宮古市へ微力ながら復興の一助となれるよう頑張りたいと思います。宮古市は、森・川・海と大自然に囲まれ、おいしい食べ物も街の方達の優しさもとても魅力的な街です。休日には、「本州最東端の鮭ヶ崎」や「日本百名山である早池峰山」に行きたいと思っています！そして、多くの方に宮古へ遊びにきてもらえるようPRしたいと思っています♪

- ①田中 一成  
(たなか かずなり)
- ②和歌山県和歌山市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④建築住宅課（仮設住宅の撤去・集約化業務）
- ⑤震災の年に少しだけ被災地に派遣で来た時から、再度いつかは被災地の支援に携わりたいと思い、今回派遣を希望しました。業務は、仮設住宅の撤去・集約化を担当しています。全く初めての業務内容であり戸惑い行き詰まることもあります。職場の皆さんからあたたかいご指導・助言をいただき、毎日やりがいがあります。今回の派遣という貴重な機会を生かし、宮古市の復興に少しでも貢献できるよう、微力ながら頑張りたいと思います！



- ①田中 久嗣 (たなか ひさし)
- ②大阪府東大阪市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④福祉課（住宅再建等の補助金の審査・支給業務等）
- ⑤震災の年に宮城県の山元町と巨理町へボランティアに行ってから、少しでもお役に立てればと宮古市への派遣をずっと希望していました。職場は福祉事務所で常にバタバタしていて、窓口での対応等慣れないことばかりですが、係のみなさんにやさしく丁寧に教えてもらっています。スキーと釣りが趣味なので安比や雫石などいろいろなスキー場巡りと、岩手のおいしい魚をたくさん釣りたいなと思っています。



①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言



- ①加藤 卓志 (かとう たくし)
- ②秋田県大仙市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④都市整備部建設課管理係（占用許可、浄化槽放流同意、通行規制許可業務等）
- ⑤震災後間もなくして数日間岩手県でボランティア活動をした機会がありましたが、再度被災地でしっかりとした支援ができればという思いがありました。来てからまだ間もなく、職場の皆さんからのご指導をいただきながら毎日新しいことを覚える日々ですが、与えられた仕事に対して真摯に取り組むことが復興に繋がるという意識を持って今後も努力していきたいです。宮古は豊かな自然があり、食べ物も美味しくとても魅力的です。これからもっと宮古を満喫して、楽しく過ごしていきたいと思っています。

- ①伊藤 正人  
(いとう まさと)
- ②愛知県名古屋市
- ③H28.4.1～  
H29.3.31
- ④教育委員会文化課（埋蔵文化財センター）
- ⑤文化財保護の業務は、長年担当してきた仕事ですので、戸惑うことなく従事しています。7月1日に、職場が新築された崎山貝塚縄文の森公園複合施設に移転しました。国の史跡に指定された遺跡の現地に隣接し、7月16日にはミュージアムも開館します。縄文土器や石器の展示、映像による解説、体験学習コーナー、公園に復元した竪穴住居など、皆さんに楽しんでいただけたらと思います。ご来館をお待ちしております。





- ①林 康隆 (はやし やすたか)
- ②鹿児島県鹿屋市
- ③H28.4.1～H28.12.31
- ④農林水産部 水産課 (漁業集落の嵩上げ、道路の整備等)

⑤震災直後の5年前に短期支援で派遣されたことがきっかけで、今回、家族4人で赴任しました。南国鹿児島との気候の違いに慣れない中で仕事では、方言と読めない地名・人名に苦労しながらも、職場の皆さんの的確な助言を頂きながら、良い雰囲気を取り組んでいます。また週末は、家族と県内を観光したり、趣味のバドミントンで汗を流しています。岩手の四季を満喫しつつ、少しでも復興に貢献できるよう、微力ながら頑張っています。



- ①村井 友哉 (むらいともや)
- ②愛知県東浦町
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④総務部 防災管理室 (避難誘導標識設置など)

⑤愛知県東浦町から派遣され、早くも半年が過ぎてしまいました。赴任当初は慣れない生活に不安もありましたが、地域の行事や登山などに声をかけていただき、今では大船渡での生活にとっても充実しています。また、残りの半年でできるだけ多くの観光地を巡り、おいしい食べ物をたくさん食べたいと思っています。岩手県での生活を満喫しておりますが、最後まで気を抜かずに頑張りますのでよろしくお願いします。

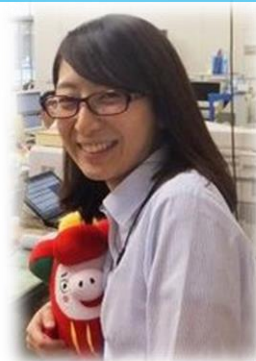


- ①小川 哲央 (おがわ てつおう)
- ②千葉県山武市
- ③H27.4.1～H29.3.31
- ④商工港湾部 商工課 (中小企業支援等)

⑤千葉県にあります山武市から派遣され、今年で2年目になります。現在、所属しております商工課では中小企業の融資あっせん事業や仮施設の管理の仕事をしています。今年は地区の夏祭りに参加するなど、地域の人との交流もあり、震災のあった熊本県南阿蘇村へ支援に行ったりもしました。本年度も半分以上が過ぎましたが、残りの期間を頑張り、自分の仕事が少しでも復興のためになればと思います。



～熊本県南阿蘇村へ支援のため、有志でさんま焼きに行き阿蘇山をバックに～(幟を持っているのが小川さん)



- ①吉安 章恵 (よしやす あきえ)
- ②山口県周南市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④生活福祉部 市民環境課 (戸籍、住民基本台帳の届出等の受付、処理、証明書発行業務)

⑤本州最西端の山口県から参りました。大船渡市はとても住みやすく、ホームシックとは縁遠く、週末には海に山にと、自然を満喫して過ごしています。特に採れたてのウニ、ホタテは絶品でした！こちらでは今までに経験のない業務内容で、まだまだ一人前とはいえませんが、皆さんに優しくご指導いただき本当に感謝しております。早くみなさんのお役に立てるよう、日々精進して参ります。引き続きよろしくお願い致します！

- ①荒木 聡 (あらき さとし)
- ②群馬県高崎市
- ③H27.4.1～H29.3.31
- ④生活福祉部 地域福祉課 (被災者生活再建・住宅再建支援業務)

⑤震災後、福島県でボランティア活動をさせていただいた事もあり、いつか本格的に復興のお手伝いが出来ればと思っておりましたので、今回この様な機会を与えていただきとても感謝しています。仕事量は多く、また気仙語にも大変苦労しておりますが、職場の雰囲気も良く、毎日充実した日々を過ごしています。昨年は岩手県の道の駅を制覇する事が出来たので、是非今年も制覇し、更に岩手県の魅力を発見していきたいと思っております。大船渡市の職員の皆様と力を合わせ、復興の為に全力で頑張りたいと思っております。よろしくお願いします。



①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

- ①勝間田 和輝 (かつまた かずき)
- ②静岡県御殿場市
- ③H28.4.1～H29.3.31

- ④災害復興局 土地利用課 (被災跡地の利用推進)
- ⑤大船渡市に赴任して、あっという間に8ヶ月が経ちました。



後列右が勝間田さん

温かい職場のメンバーや、派遣職員の仲間に恵まれ、楽しんで過ごせることに日々感謝しています。大切な仲間もでき、ホタテの耳吊りやウニの殻剥きをはじめ、地域の祭への参加など、ここから出来ないことも体験でき、充実した日々を過ごしています。期間も残りわずかですが、最後まで復興の力になれるように、悔いを残さないように頑張りたいと思っております。



- ①黒澤 弘 (くろさわ ひろし)
- ②京都府京都市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④教育委員会事務局生涯学習課 (埋蔵文化財)

⑤東北に足を踏み入れたことがなかったのがなかったので立候補しました。溪流釣りが趣味です。関西では、ヤマメでなくアマゴが釣れます。岩手で禁漁までに尺ヤマメを釣り上げたいです。毎日沢山のトラックが町・海・山を走り抜けています。一日も早く復興の工事が完了して日常が戻ることを願っています。



- ①鈴木 明廣 (すすき あきひろ)
- ②愛知県名古屋市長 ③H28.4.1～H29.3.31
- ④復興局市街地整備課 (今泉地区土地区画整理事業)
- ⑤阪神淡路大震災の時に淡路島へ派遣経験のある当時の上司から声を掛けていただいたのと以前の職場で一緒だった後輩職員が既に陸前高田市へ派遣されていたので、これも巡り合わせかと思い陸前高田市へ参りました。職場の皆さんにはとても良くしていただき、大変感謝しております。1日も早い復興事業の完了に向けて、微力ながら陸前高田市のお役に立てればと思っています。



①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言



- ①武田 芳治 (たけだ よしはる)
- ②島根県松江市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④企画部商工観光課 (観光交流人口の拡大など)
- ⑤想像を絶する震災を経験されたにもかかわらず、常に前向きに頑張っている方々が多いことに感銘を受けました。自分に与えられた時間、「いま」できることをしっかりやることで、陸前高田市の皆さんのためにお役に立てばうれしいです。

また、派遣元である松江市をはじめとした遠く離れた地域と陸前高田市を結び懸け橋となるよう努めていきます。

- ①古賀 進 (こがすすむ) ②福岡県福岡市長 ③H28.4.1～H29.3.31
- ④復興局市街地整備課 (区画整理事業) ⑤陸前高田市に赴任し、あっという間に半年が経とうとしております。赴任前は多少の不安もありましたが、今ではこちらの生活にも慣れ、久しぶりの独身生活を楽しんでおります。陸前高田市では、区画整理事業の担当をしておりますが、限られた期間の中で新たに街づくりをして行くことの大変さを改めて感じているところ



です。不慣れな仕事ではありますが、皆様には大変良くして頂き、いい雰囲気でも取り組んでおります。これからも陸前高田市の1日も早い復興のために尽力いたします。

- ①森下 真弓 (もりした まゆみ)
- ②三重県松阪市長 ③H28.4.1～H29.3.31
- ④教育委員会事務局生涯学習課

⑤派遣前に陸前高田市を訪れたとき、被災した景色や仮設の多さを目の当たりにして、この地で仕事をしたいと思ったことから、派遣を希望しました。こちらへ来てからは、職場をはじめ、地域の方々にとってもお世話になりながら仕事をさせていただいており、陸前高田市民の温かい人柄はもちろん、郷土の魅力にも触れ、充実した日々を過ごしています。これからますます復興が進む陸前高田市に、たくさんの方が来てくれるように、地元松阪市にも情報を発信したいと思っています。



- ①佐藤 幹大 (さとう みきひろ)
- ②北海道苫小牧市長 ③H28.7.1～H29.3.31
- ④企画部商工観光課
- ⑤陸前高田での生活も早4ヶ月、冬を感じる季節となり、時間が過ぎるスピードを強く感じております。赴任日から川崎フロンターレとのスマイルフェスの準備、その後も産業まつりなど市内で開催されるイベントに関わり、職場をはじめ市民の方々に日頃から優しく接していただき感謝しております。短い期間で、できることは限られますが、陸前高田の復興、まちづくりの一端に微力ながら支えられるよう、残りの任期も頑張りたいと思います。



下段中央が佐藤さん



- ①池田 正明 (いけだ まさあき)
- ②東京都荒川区
- ③H26.4.1～H29.3.31
- ④総務企画部総務課 (マイナンバー担当)
- ⑤私は、震災10日後に給水活動

支援、5月に避難所運営支援でそれぞれ1週間弱釜石入りしていました。その時に感じた「長期的かつ継続的の支援が必要」の思いから派遣を希望しました。平成24年に1年間、平成26年から今までなので都合4年間、ここ釜石でお世話になっています。今の仕事はマイナンバーに関する事務で、まだまだ手探り状態が続いていますが頑張っていきたいです。あまり県内各地もまわっていないので、これからは他市町村も観光してみたいです。



- ①綿谷 雅子 (わたたに まさこ)
- ②大阪府大阪市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④復興推進本部 都市整備推進室 区画整理係 (区画整理業務)
- ⑤東日本大震災から5年、東北から離れた大阪にいると“もう5年”ですが、東北の方にとっては“まだ5年”。復興の真っ只中である釜石市の方々のお役に立てればと思い派遣に応募しました。まだまだ役立たずである私に、職場の皆様は優しいばかりで、岩手県の雄大な自然のごとく大きな心で接してくれています。関西弁バリバリの私ですが派遣終了時には岩手弁とのバイリンガルになれるくらい地元に着し職務に励んでいきたいです!



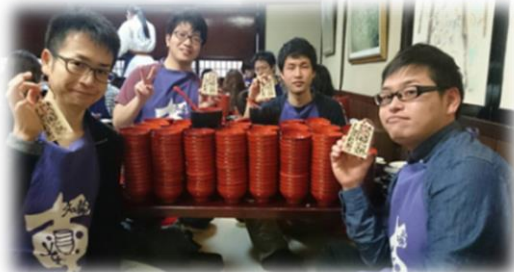
- ①杉浦 健慈 (すぎうら けんじ)
- ②愛知県西尾市
- ③H27.4.1～H29.3.31
- ④総務企画部税務課 (固定資産税・家屋関係)
- ⑤平成28年3月までの派遣予定でしたが、土地勘も仕事のやり方も身に付きこれからが本番だと思い、派遣元に志願して1年延長となりました。今年度は、新築家屋の増加や評価替え業務にも対応できる資産税系の基盤を作りたいと考えております。プライベートでは3月にわんこそばを食べ三大麺を制覇しました。特に冷麺は大好きで、月1で必ず盛岡に行き食べます。岩手の美味しい食べ物を残り期間で沢山食べたいなと思っております!

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言



釜石鉦山坑道見学会参加。一番右が玉田さん

左から順に、杉浦さん、木川田さん(釜石市)、鈴木さん(岐阜県土岐市)、足立さん(岐阜県関市)



- ①玉田 かえで (たまだ かえで)
- ②北海道室蘭市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④水産課基盤整備係 (漁業集落排水工事、漁港災害復旧工事の設計・監督員)
- ⑤経験のない業務で不安も多いですが、色々な地方から復興のために集まった方達と仕事ができ、良い経験をさせていただいていますので、これから少しでも釜石市のお役に立てるように頑張りたいです。また、こちらでは趣味のマラソンやドライブ、登山等を満喫していますが、地元でいた頃に比べお酒を飲みに行く機会が減り、寂しい思いをしていますので、楽しく飲める仲間を見つけ、残り8か月の釜石生活を楽しまたいと思います。

- ①紀岡 秀征 (きおか ひでゆき)
- ②岐阜県恵那市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④都市計画課 (復興住宅などの住宅事務全般)
- ⑤思い返せば1年以上前、被災自治体職員の不足が深刻な状況にあることを知り、派遣を志望しました。今年度は復興住宅が次々と竣工しており、新しく住みやすい環境で再出発される方々の後押しを少しでもできればと、日々業務を行っております。週末は山や海、温泉など行きたい所がたくさんありすぎて時間が足りません。地元に戻っても東北の自然、文化、食、そして人々の魅力を伝え続けていきたいと思います。愛してるぜ釜石!



- ①杉野 昌生 (すぎの まさお)
- ②佐賀県嬉野市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④甲子地区生活応援センター
- ⑤3年前に定年退職した再任用職員ですが、公務員生活の最後は震災復興に参加したい。との思いで釜石市勤務を希望しました。管内の仮設住宅で生活される被災者の方々の訪問しての傾聴や、ケースファイルの整理し移転先の生活応援センターにつなぐといった活動が主な業務です。訪問先が地域の一人暮らし高齢者まで広がっていますが、地域の方々との交流も有意義な時間です。釜石で、現役生活を締めくくることができることに幸せを感じています。





- ①上野山 温子 (うえのやま あつこ)
- ②大阪府箕面市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④総合政策課

⑤微力ながら被災地で一助になればという気持ちはもちろんのこと、派遣元で、過去に大槌町に派遣された先輩から話を聞いているうちに、自身の経験になると思い、派遣を希望しました。総合政策課はプロパーと派遣職員が半分ずつの割合で、地元のことをいろいろ教えてもらいながら、チームで明るく業務に取り組んでいます。岩手県印象は自然が豊かで、広い、星がきれいという印象です。



- ①五味 真也 (ごみ しんや)
- ②堺市上下水道局
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④水道事業所 (水道施設復興計画にかかる業務)
- ⑤堺市から大槌町水道事業所への派遣は、私で4人目となりました。前任の方々が築いてきた信頼を益々発展させるよう頑張っていきます。岩手県印象ですが、とにかく広い。どこまで行っても岩手県という印象。夏には家族を呼んで東北一周旅行をしようと計画してます。また、震災の爪痕を家族にも見せ、伝えていこうと思います。



①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

- ①玉城 幸治 (たましろ こうじ)
- ②沖縄県
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④復興局都市整備課
- ⑤気候、文化等が大きく異なる、南国の沖縄県より派遣されてきました。やはり、沖縄といろいろと違って、



仕事・生活において初めてのことが多く、毎日手探りをしながら進めている状況です。しかし、職場の雰囲気はとてもよく、周りの方々に色々教えてもらいながら、日々取り組んでおります。1年間と限られた時間の中ですが、少しでも地元の方のお役にたてるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

- ①大塚 啓太 (おおつか けいた)
- ②岩手県花巻市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④税務課
- ⑤同県花巻市から大槌町へ派遣されました。大槌に来て、約3ヶ月半(原稿作成時)が経ちました。

震災の年、平成23年度採用の私は当時から支援等で幾度か沿岸の方へは来ていましたが、今年度派遣され改めて、復興はこれから!と感じました。税務課ということで、復興関連の業務に携わる機会が少ないですが、別の面で力になれることがありましたら、お力添えをできればと思っています。これからも、よろしくお願いします。



- ①味野 啓一 (みの けいいち)
- ②岡山県倉敷市
- ③H28.10.1～H29.3.31
- ④復興推進課
- ⑤10月から半年間復興支援員として来させていただいています。被災地を訪れるのは今回が初めてで、5年半がたった今でも町にはたくさんの重機が通り、仮設住宅に多くの方が住んでいるということを実際に目の当たりにし、改めて震災の傷が大き

かったことを感じています。美しい大自然に囲まれ、優しい人ばかりの大槌町の復興に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思います。

- ①亀元 真吾 (かめもと しんご)
- ②宮崎県高鍋町
- ③H28.10.1～H29.3.31
- ④住宅課 管理班
- ⑤10月から大槌町に来ました。大槌では寒さと日の短さに驚きましたが、キノコ狩りや釣りをしたり、冬道講習でドリフトをしたりと楽しい毎日を過ごしています。先日は初雪が降り、雪に免疫がない私は一人で興奮してしまいました。これから雪のシーズンになり、興奮する毎日となりますが、春まで様々な方と交流しながら仕事を頑張りたいと思います。



- ①石橋 欣也 (いしばし きんや)
- ②岩手県遠野市
- ③H28.4.1～H29.3.31
- ④復興局住宅課
- ⑤大槌町に赴任し、4ヶ月が経過しました。35年間の公務員生活で異動は15年前に林務関係に1度(6年)だけで、29年間は都市計画課勤務でした。2度目の異動が派遣ということで、何もかもが戸惑うことばかりでしたが、職場の皆のお蔭で少しずつ慣れてきたところです。この4ヶ月の間に、役場周辺の状況が大きく変わりました。今後、復興に向けもっと大きく変わっていく大槌町に、少しでもお役に立てるよう出来る限り頑張っていきたいと思っています。



①伊藤 浩士 (いとう ひろし)  
 ②静岡県沼津市  
 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建築住宅課  
 (防災集団移転促進事業)  
 ⑤岩手県で生活をしてきた印象は、寒い。とにかく寒い！雪のほとんど降らない沼津市に生まれ育ったため、東北の厳しい冬を無事に越せるのか、今から不安でなりません。山田町の様子を見ると、復興は着実に進んでおりますが、道半ばであり、まだまだ住民の皆様の当たり前の生活は取り戻せていない印象を受けます。皆様の笑顔と当たり前の生活を取り戻すために、強く、優しく、一生懸命に力を尽くします！



印象を受けます。皆様の笑顔と当たり前の生活を取り戻すために、強く、優しく、一生懸命に力を尽くします！

①大泉 剛 (おおいずみ こう)  
 ②神奈川県川崎市  
 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建設課  
 (防集団地の整備、募集等)  
 ⑤ずっと気になっていた被災地の復興。応援に行くからには役に立ちたいと思っていましたが、教えてもらうことばかりで職場の皆さんに応援いただいています。今は海に近い場所に住んでいますが、玄関を出てすぐに山田湾、オランダ島、船越半島を臨めるという環境は本当に贅沢です。そんな風景に癒されつつも、面的整備は概ね来年度での完了が見込まれており、復興後の姿も見据え応援職員として何ができるのか、手さぐりの日々です。



①田代 博紀 (たしろ ひろのり)  
 ②静岡県静岡市 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建設課 (土地区画整理事業、工事発注等)  
 ⑤山田町にお世話になってから早いもので半年が経ちました。新しい職場環境の中、ここまで無事に来られたのは、周りの方のおかげと深く感謝しております。残りの期間、少しでも復興のお役にたてるよう、頑張っていきます。週末は岩手県の大自然を満喫しています。今まで自然は退屈なものと思っていましたが、とてもエキサイティングで、まったく飽きることがありません。岩手県を知るには1年では足りないと感じています。



左から、田代さん、川村さん(山田町職員)、市澤さん(青森県南部町から派遣)、三木さん



①宮坂 勇貴 (みやさか ゆうき)  
 ②長野県千曲市  
 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建設課用地係 (用地取得に係る事務全般・農地転用申請事務、用地取得後の税関係の事務)  
 ⑤震災発生時から被災地復興の力になりたいと考えており、派遣希望をして山田町へやってきました。海のない長野県民にとって、海のある生活はとても新鮮です。仕事は初めてのことばかりで勉強の毎日ですが、職場の雰囲気もいので頑張っています。普段は気ままに旅に出たり、サッカーをしたりと好奇心が赴くままに活動中です。時間は限られていますがたくさんの人との出会いを大切にして、被災地復興の力になれるように頑張ります！

海のない長野県民にとって、海のある生活はとても新鮮です。仕事は初めてのことばかりで勉強の毎日ですが、職場の雰囲気もいので頑張っています。普段は気ままに旅に出たり、サッカーをしたりと好奇心が赴くままに活動中です。時間は限られていますがたくさんの人との出会いを大切にして、被災地復興の力になれるように頑張ります！

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

①稲葉 祐輔 (いなば ゆうすけ)  
 ②静岡県静岡市  
 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建築住宅課 (災害復旧に係る建築工事の設計、工事監理)  
 ⑤山田町へは4年前に被災状況を見に来たことが初めてでした。当時の記憶からは町並みはずいぶん変化しています。しかし建築分野はこれからが本番であり、災害公営住宅、消防庁舎等まだまだ整備するものが残っています。被災者の方々に少しでも早く暮らしよい生活を提供するために努力していきます。先日は地元の荒神社の祭りで、お神輿を担がせて頂きました。限られた派遣期間ですので色々なことにチャレンジしたいと思っています。



帰郷時、息子さんと一緒に・・・

①三木 登士哉 (みき としや)  
 ②和歌山県和歌山市  
 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建設課 (高台エリア造成及び道路工事担当)

⑤先に山田町に派遣された先輩の話聞いた時、自分も復興に向け何かできないかと思い、家族と相談し派遣職員の募集に手を挙げました。4月1日に単身で赴任し、既に半年以上経ちました、日々教えてもらうことばかりですが、山田町は職員の方々をはじめ、説明に伺ったお宅でも労いのお言葉を頂いたり、温かい人柄を感じる街です。限られた派遣期間ですが復興に向け形に残る業務に取組み、二人の息子に完成した山田町を一日でも早く見せたいと思っています。よろしく願いいたします。



①新井 孝法（あらいたかのり）  
 ②埼玉県深谷市  
 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建設第一課  
 ⑤田野畑村に派遣となりまして早三カ月が経ちました。仕事場は、何でも聞きやすい雰囲気働きやすい環境です。普段の生活でも、海釣りをしたことがありませんでしたが、職場の上司や同僚が教えてくれ、新たな趣味を見つけることが出来ました。田野畑村では、周りの人のおかげで、充実した日々を送れています。残りの派遣期間も皆様に少しでも恩返しができるよう精一杯頑張りたいと思います。



（左）盛岡市より派遣の千葉さん （右）新井さん

## 田野畑村

①唐牛 重任（かろうじしげと）  
 ②青森県藤崎町  
 ③H28.10.1～H29.3.31  
 （H25.4.1～H25.9.30）  
 ④建設第二課  
 （防潮堤工事施工管理）  
 ⑤派遣元の青森県藤崎町と田野畑村は震災後、町村の教育委員会から交流が始まり、昨年には友好都市となりました。私自身は田野畑村への藤崎町派遣職員の嚆矢として3年前に半年間おりました。今回は2度目の派遣です。前回と違って、あまり不安もなく着任し、藤崎町の説明や、難読名字の解説もほぼ

不要でした。藤崎町とは違い、復興のための技術職が多いので、毎日、勉強させていただいております。



### ①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

①桑田 徹也（くわた てつや）  
 ②埼玉県深谷市 ③H28.4.1～H29.3.31  
 ④建設第一課（村道復興整備事業）  
 ⑤今年の4月に着任し、3カ月が過ぎました。田野畑村の職員や村民の皆様の温かさに触れ、充実した毎日をごさせて頂いております。今、担当している工事も佳境を迎え、身の引き締まる思いで業務にあたっております。生活面では、休日に被災箇所や観光地を訪れ、知見を深めている状態です。これからも、田野畑村の復興の一助となれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



（手前）桑田さん、  
 （奥）二戸市より派遣の大谷さん

## 野田村

### ①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

①三ヶ森 善智（みかもり よしとも） ②東京都（任期付職員）  
 ③H24.9.1～H29.8.31 ④復興むらづくり推進課（土地区画整理事業・都市公園事業・道路事業）  
 ⑤野田村に派遣され、あっという間に4年3か月が経過しました。4年間野田村の山海の幸を食べ続けた結果、9kg太ってしまいました。残りの任期、村の復興事業の仕上げと私のダイエットに向けて全力で頑張ります。村の様子も震災直後と比べ明らかに変わってきました。みなさん、一度野田村においでください。復興の現場とおいしい食べ物に酒、喜んでガイドさせていただきます。

①蝦名 聡  
 （えびな さとる）  
 ②青森県  
 ③H28.4.1  
 ～H29.3.31  
 ④復興むらづくり  
 推進課総務班  
 （用地取得補償）



⑤課内や役場内の皆さんがあたたかく迎えてくださり、派遣されてからまだ2ヶ月半ですがもっと前からの仲間のように感じています。派遣前の勤務地が八戸市だったこと、課内に青森県出身者が5名いることから、言葉についてはまったく不自由ないのですが、復興事業のメニューや用語は覚えるのがちょっと大変かも…？用地経験は長いものの登記嘱託は初めてなので勉強しながらの部分もありますが、復興のお役に立てるようがんばります！



H28.3応援職員有志で行った札幌国際スキー場にて  
 （左から青森市派遣斎藤さん、東京都派遣高木さん、三ヶ森さん、村任期付西片さん）



# 「お元気ですか？」～あの方は今～①



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

**太田 敏弘さん**  
(千葉県柏市)

【派遣先(期間)】 釜石市 市民課医療給付係 (H27.4.1～H28.3.31)  
【現在のお仕事】 人事課給与厚生室 (職員の給与や福利厚生に関する事務)

↓今年7月、釜石の職場暑気払いにて(後列左から4番目が太田さん)



### 【派遣を終えて思うこと】

勤続25年が過ぎ、環境を変え自分を試したいと志願し、平成27年度の1年間だけでしたが、釜石市職員の方々の復興に対する意地や執念を身近で感じることができ、そしてその志しを全うしようと全国から集まった人々と共に汗を流せたことは、一生涯忘れることのない、私の人生の糧となる経験をさせてもらったような気がしています。自分がここ(被災地)で出来ることは何なのか、何をすれば支援となるのだろうかと考えはじめた赴任早々の5月下旬、帰省のため夜行バスに乗ろうと停留所を目指し自転車を走らせていたところ誤って転倒、そのまま救急車で県立釜石病院に搬送され入院、障害が残り、精神的にも参ってしまった時期がありました。このまま派遣を辞め帰ろうかとも真剣に悩みましたが、着任早々「来てくれて本当に

よかった」と涙ながらに迎えてくれた職場の方たちを裏切ることは出来ない、何とか役に立ちたい、ここで帰ったら一生後悔するという思いが日に日に強まり、また、釜石の人々の献身的な支えや、寄り添って励ましてくれたことにより、無事復帰することができました。そして、釜石を去る日「ふるさとだと思っていつでも帰ってきてね」と見送られ、釜石線で涙ながらに想ったことは、「あの時、帰らなくて本当によかった」ということと、結局「私の方が助けてもらったなあ」という申し訳なさでした。派遣を終え約半年が過ぎましたが、私は、これからも釜石を「ふるさと」として生きていけることへの幸せをしみじみと感じています。そして、離れていても復興への意地と執念を持つ「同志」として、これからも釜石の人々と寄り添って復興への道のりを共に歩いて行こうと、心に誓う限りです。また、笑顔で会いましょう。ありがとうございました。

あけぼの山公園↓  
(四季折々の花で彩られた風車は、今では柏の顔)

### 【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

柏市は、東京都心から30キロメートル、千葉県の北西部に位置する、人口約40万人、面積114.9平方キロメートルのまち、サッカーJリーグ柏レイソルや女子バスケットボールJXサンフラワーズのホームタウンです。市内にはJR常磐線、東武野田線、つくばエクスプレスの鉄道3路線のほか、国道6号、16号、常磐自動車道が通り、交通の要衝となっています。その高い利便性から、柏駅周辺では商業集積により多くの若者や買い物客で賑わい、柏の葉地区では新産業の創出をはじめ、東京大学、千葉大学を中心とした先進的な学術のまちとしての一面もクローズアップされています。また、利根川や水質が改善された手賀沼などの自然環境、市民の憩いの場として手賀の丘公園やあけぼの山農業公園などの緑にも恵まれ、都会の街並みと自然の豊かさが調和した魅力あふれるまちです。



←柏レイソル  
スタジアム



↑昭和48年の開店以来、多くの市民に親しまれてきたところ、柏店が、9月30日に43年の歴史に幕を閉じました。閉店後には閉店セレモニーも行われました。





派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。



**根本 敦子さん**

(復興庁岩手復興局)

【派遣先(期間)】大船渡市 農林水産部 水産課 (H25.7.1～H28.3.31)

【現在のお仕事】茨城県農林水産部水産振興課 栽培・施設グループ

### 【派遣を終えて一言】

大船渡市のみなさまに温かくご指導して頂きながら、復興業務に携われたことは私の大切な財産です。現在は茨城県水産振興課でアワビ種苗放流など栽培漁業に関する業務に携わっていますが、これらの基本は大船渡市で学んだことでした。大船渡市では、アワビ調査や水質調査など船上での業務、休日は釣りやホタテ養殖のお手伝いなど、数多くの現場を経験させて頂きました。浜の仕事は早朝から始まり、寒い日は手が悴みます。しかし、地域のみなさんとたわいもない会話をしながら心の温まる作業でした。そして、厳しい自然と共存しなければならない難しさや苦労と、同時に漁業の面白さも少しですが知ったような気がします。これからも、大船渡市での経験を糧に、大切な水産資源を守って行きたいと思えます。

なんと大船渡市役所駐車場でシカの親子を発見！！



水戸黄門で有名な水戸市



職場のみなさんとの釣り大会でヒラメをゲット  
(グリーンジャンパーの女性が根本さん)



茨城県のあわび種苗放流

### 【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

(転勤族の)私は茨城県水戸市に住み始めてまだ8ヶ月ですが、茨城県のお国自慢！！水戸市は東京から車で2時間ほどの距離にありながら、自然豊かなところ。毎年、茨城県は魅力度ランキング最下位ですが、実際はとても住みやすく城下町の風情もある素敵な街です。そして、来春から放送されるNHK朝ドラ「ひよっこ」の舞台となるロケ地もここ茨城県です。ぜひご覧下さい。オススメの魚は茨城県の魚「ひらめ」やブランド魚



「あんこう」と言いたいところですが、もう少し庶民的で岩手県では珍しい魚と言えば「めひかり」です。見た目と違いふっくら柔らかくて上品な旨みのある白身魚です。揚げても焼いても美味しいですよ。

めひかり(深海性で目が大きく、眼球が青く光って見えることからこの名で呼ばれています)



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

**頼本 鏡子さん**  
(神奈川県相模原市)

【派遣先(期間)】 大船渡市 生活福祉部保健介護センター  
(H25.4.1～H27.3.31)

【現在のお仕事】 健康福祉局福祉部精神保健福祉センター  
(精神保健福祉センターは精神保健及び精神障害者福祉に関する総合的  
技術センターとして、地域精神保健福祉活動の拠点となるところです)

大船渡ポートサイドマラソンを完走したときの写真  
(おおふなトンの隣の女性が頼本さん)



### 【派遣を終えて一言】

被災地を応援したいという思いで大船渡市に赴きましたが、すっかり応援され元気をもらって帰ってきました。

職場の皆さんは芸達者で宴会のときには踊りや歌、寸劇などの楽しい出し物がありました。私には初体験の文化でしたが、一緒にやらせてもらって楽しく過ごしたことが思い出深いです。

帰任後に大船渡を訪れたときに「お帰りなさい」と声をかけて頂き、改めて第二の故郷と実感しました。これからも時々里帰りして大船渡の復興を見ていきたいと思っています。

JAXA相模原キャンパス

### 【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

相模原市には宇宙開発の最先端技術を研究している宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設の1つであるJAXA相模原キャンパスがあります。ここは宇宙科学技術の中心的な施設で、小惑星探査機「はやぶさ」の開発・運用が行われました。

JAXAの研究施設が縁で交流を始めた5市(岩手県大船渡市、秋田県能代市、長野県佐久市、宮城県角田市)2町(鹿児島県肝付町、北海道大樹町)が、ユーモアとパロディの精神で連邦国家を組織しており、相模原市と大船渡市はこの銀河連邦を通じて深いつながりがあります。

毎年「JAXA相模原キャンパス特別公開」があり、会場では銀河連邦の特産品の販売もある楽しいイベントです。是非、いらしてみてください。



M-3SIIロケット原寸模型  
(ミューズリーエスツーは、世界でも稀な惑星間軌道へ探査機を投入できる全段固体燃料ロケットです)



小惑星探査機「はやぶさ」実物大模型(展示室)  
(はやぶさは、日本が開発して打ち上げた、小惑星1161ワカからサンプルを採取し回収することなどを目的とした小惑星探査機です)



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。



**古賀 龍一郎さん**  
(佐賀県武雄市)

【派遣先(期間)】陸前高田市 企画部協働推進室→企画部まちづくり戦略室 (H24.4.1～H25.9.30)  
【現在のお仕事】佐賀県武雄市 企画財政部企画課長

【派遣を終えて一言】

私は陸前高田市役所に1年半お世話になりました。仕事内容は被災地の情報発信。被災地が忘れられない為に、陸前高田市の日常や風景などを、当時まだまだ活用されていないSNS (Facebook) 等を利用して、毎日のように発信してきました。また、地元の産品を紹介し、販売する取り組みや、奇跡の一本松を復活させるための募金活動、一本松のロゴマーク作成なども取り組ませていただきました。まだまだ地元の復興が進まない中で、自分のやっている事が復興のお手伝いとなっているのかと不安になった時

↓ 派遣当時の職場の風景



もありました。しかし、そんな不安も一緒に働き、遊んでいただいた陸前高田の仲間のおかげで、一生忘れることのできない出会いと経験になったと思っています。復興までの道のりはまだまだですが、これからもいろんな形で応援していきたいと思います。



↓ 武雄市図書館



【お国自慢♪♪ (地元の紹介)】

現在私は市の企画課に所属し、市全体の事務事業の精査や、新規事業に向けての調整事務などを行っています。

佐賀県武雄市は九州の北西部に位置し、農業の盛んな人口約5万人のまちです。平成25年4月にレンタル会社大手のTSUTAYAを運営する株式会社カルチュア・コンビニエンス・クラブに市立図書館の指定管理を委託し運営を開始。これまでの公立図書館の常識を覆し、コーヒー片手におしゃべりが出来る図書館として一躍有名となり、現在も県内外から多くの方に集まっていただけの観光スポットにもなっています。

また、市のシンボルとも言える御船山有する御船山楽園は、弘化2年(1845)旧佐賀藩第28代武雄領主・鍋島茂義[なべしましげよし]が、大和の格調高い画風として日本を代表する狩野派の画師を京都より数名招き、完成予想図を描かせ約3年の歳月を費やし造園。15万坪の敷地の中に春は、5万株(20万本)のツツジ、夏は新緑、秋は紅葉、冬は山茶花などが、四季折々に彩りを添えてくれます。特に、春の桜、ツツジ、秋の紅葉はすばらしく、ライトアップは九州最大級ですので、一度ぜひお越しください。



↑ 御船山楽園



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

【派遣先(期間)】大槌町 総務部税務課収納班 (H27.4.1～H28.3.31)  
【現在のお仕事】市民生活部 税務課 債権回収係

北浦 忠由起さん  
(大阪府河内長野市)

### 【派遣を終えて一言】

大槌町では、税収納業務を担当していました。実際に来るまでは、被災地で滞納処分なんて・・・？と考えていましたが、来て見てビックリ。先進的な滞納処分が行われていました。特に、私の前任の派遣職員の方が、熱意をもって取り組んでおられたようです。引継ぎの際に、「復興後の大槌町のために、今から徴収率を上げておかないといけないんだ。」という話を聞いて、1年間自分が何をすべきなのか理解できました。そのおかげで、何とか次の派遣職員さんにバトンを渡すことだけはできたかな？と思います。地元に戻ってからも、納税業務を担当していますが、「仮設住宅暮らしを余儀なくされている人でも、差押えされるねんぞ！」と心を奮い立たせています。また、大槌町は、役場全体がスピード感をもって、かつダイナミックに様々な施策が進められていた印象で、(復興という事情はあるにせよ)自治体でもこんな動きができるんだ！ということを感じていただいた気がします。復興に向けて、現在も力を合わせて頑張っておられる皆さん、とにかく応援しています！でも、お身体だけはお大事になさってくださいね。さて、大槌町に住み始めて、すぐに東北の魅力にハマってしまった私は、休日は常に東北各地に出掛けていました。(それにしても岩手県は広すぎます！)ただの国道なのに、ドライブしていて気持ち良すぎる風景。いくら見ても飽きない美しい星空。最高なのに混んでいない温泉。可愛い野生動物(特にウミネコちゃん)。美味しい地元産の食べ物とお酒。様々なイベント。そして何より、私をいろんなところに連れて行ってくださった優しい大槌町の仲間たち。最高の1年間でした。本当にお世話になり、ありがとうございました。最後に、これだけ言わせてください。

浄土ヶ浜で、ウミネコちゃんと記念撮影。はいチーズ！

！Love大槌！！Love岩手！  
また行くで～♡

9月に大槌町に里帰りした後、須川温泉へ。貸し切り！いい湯っこ♨

### 【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

河内長野市は、大阪府の南部に位置し、和歌山県と奈良県に接しています。大阪では3番目の面積を有し(と言っても、大槌町の半分程度ですが)、その7割が森林で自然豊かなまちです。南北朝時代関連の遺跡が数多くあり、中でも空海や楠木正成ゆかりの観心寺や、村上天皇の行在所となった天野寺金剛寺が有名です。また、関西サイクルスポーツセンターという、全国的にも珍しい自転車車が主役のテーマパークがあります。と、マジメな話はさておき、私が大阪に帰ってから、大槌町の皆さんが何回か遊びに来てくださったのですが、特に河内長野市を案内するわけでもなく、只々大阪市内のディープな飲み屋を回っておりまして。岩手の皆さん、ぜひ大阪の最深部に飲みに来てくださいね(笑)大阪市のベッドタウンとして発展してきた本市ですが、近年では、人口減少と高齢化が府内で最も進行しています。本市よりさらに5年進んでいる三陸沿岸の被災地の現状は、決して他人事ではありません。被災地の復興なくして日本の未来はないと思う所以です。岩手と大阪。地理的には遠く離れていますが(気のせいかも?)、これからも、ともに頑張りましょう！



さんさ踊りに大槌町チームで参加。最高の思い出です！



あっぱれマラソン。みんなで完走！



わんこそば全日本大会に出場。け！け！け！  
飲み！飲み！って、そんなの無理っすよ～。



観心寺  
「楠木正成像」



↑  
関西サイクルスポーツセンター  
「変わり種自転車」

→  
大阪府立 花の文化園  
「奥河内イルミネージュ」



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

富田 恵理さん  
(群馬県高崎市)

【派遣先(期間)】大船渡市 生活福祉部 地域福祉課  
(H25.4.1～H26.3.31)

【現在のお仕事】総務部広報広聴課(広報紙の編集・発行)

【派遣を終えて一言】

大船渡市役所の皆さんに温かく迎えていただき、貴重な経験をさせてもらいました。海なし県からの派遣だったため、帰り道、磯の香りがしたときは興奮しました。仕事は、補助金など被災者支援をさせていただきました。職員の皆さんのフォローがあり、窓口にくる人の気仙言葉に悪戦苦闘しつつも1年間楽しく過ごせました。プライベートでは大船渡市以外の被災地にも足を運んだり、フットサルなどのスポーツに参加したりしていました。あとは、大船渡市での所属長の今野課長のバイクのライディング姿がかっこよくて、復興支援にもなるためバイクの免許も取得しちゃいました。

派遣前に自分の中で決めた「大船渡市へ10人以上に来てもらう」という目標を達成でき、良かったです。

復興は進んでいますが、これから先もまだまだ多くの課題を解消していかなければならないと思います。踏ん張っていきましょう。元派遣職員として、大船渡市や他の被災地域に対して、これからも何かしら関わりを持ち続けたいです。



被災者支援を担当した職員と記念撮影(だるまを手をしているのが富田さん)

【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

都道府県魅力度ランキングで安定の低順位(今年は45位)を獲得する群馬県にあるのが、高崎市です。北関東ですが、よく南東北と言われます。

お国自慢と言われてもパツと出てきません。何も無いところが魅力ですと言うと、怒られてしまうし……。高崎だるま、焼きまんじゅう、群馬交響楽団、上野三碑、白衣大観音、榛名山ヒルクライム、キングオブパスタなど上げてみるとありますね。文化・スポーツ・芸術・歴史・イベントなど多分野でいろいろと。詳しくは、高崎市ホームページ(<http://www.city.takasaki.gunma.jp/>)にアクセスしてください。今の所属は広報紙を作っている部署なので、広報紙を併せて読んでいただくと嬉しいです。

岩手の皆様、派遣職員の皆様、ぜひとも高崎に遊びに来て下さい。案内します。お待ちしております。



＜高崎だるま＞

形全体が丸みを帯びて、ふくよかな感じのする「高崎だるま®」。眉毛は鶴、髭は亀を表現しています。日本での吉祥・長寿の動物が描かれ、その縁起の良さから昔から多くの人に親しまれてきました。お腹や両肩に願いを込めた文字が書かれているだるまは全国的に見ても珍しいものです。また、「七転び八起き」と言われ、いくら転がしてもすぐに起き上がります。重心が安定した形は心の持ち方を示し、どんな困難にも対処できる落ち着いた心と忍耐力を表しています。



＜焼きまんじゅう＞

上州名物「焼きまんじゅう」は、江戸時代から庶民の味として人々に親しまれてきたと言われています。蒸した白いまんじゅうを串に刺し、秘伝の甘い味噌ダレを塗ってこんがり焼き上げて完成です。あん入りのものもあります。自宅で作れるキットも販売されています。



「高崎だるま」と「おおふなト」の  
コロボだるま



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

**大垣 昌紀さん**  
(大阪府泉佐野市)

【派遣先(期間)】大船渡市 災害復興局 土地利用課  
(H26.4.1～H27.3.31)

【現在のお仕事】市長公室市民協働課(熊本県宇土市建設部土木課へ派遣。  
熊本地震に係る宇土市の災害復旧事業に従事)

【派遣を終えて一言】

大船渡市の職場や暮らしていた地域の皆様には、公私にわたり大変お世話になりました。地元職員さんや全国からの派遣職員の仲間にも恵まれ、職場の仲間と過ごした1年間や、全国に仲間ができたことは、かけがえのない財産になりました。また、リアス式海岸の変化に富んだ自然の造形美や、他では味わえない新鮮な海の幸を堪能できたことは、忘れられない思い出になっています。派遣期間中は、大船渡駅周辺地区の土地区画整理事業に従事していました。平成28年夏に訪問した時は、すっかり様子が変わった街の景色に、驚きと感動が込み上げ、復興が着実に進んでいることを実感しました。現在は、熊本地震で庁舎の崩壊をはじめ、多大な被害が発生した熊本県宇土市に、平成28年10月から災害復旧事業の応援に来ています。微力ながら東北で復興事業に携わった者として、熊本においても1日でも早い復興を願い頑張っていきたいと思っています。



【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

関西国際空港のお膝元、泉佐野市は、大阪府の南部で大阪都心部から約40kmに位置し、背後に和泉山脈を擁し、緑豊かな自然や、犬鳴温泉、大阪府で初めて重要な文化的景観に選定された「日根荘大木の農村景観」を有しています。また景観でいえば、日本の夕日百選に選ばれたマーブルビーチは、白い大理石が埋めつくされた全長2.8kmの海岸で、青い海とのコントラストが美しく、対岸の関空から飛行機が飛び立つ風景や、真赤に染まる夕焼けは、一見の価値があります。アウトレットなどの商業施設も隣接していますので、是非遊びに来てください。

泉佐野市の特産品としては、水なす、玉ねぎ、キャベツなどの農産物や、泉ダコ、ワタリガニなどの水産物、全国シェアの約半数を占める泉州タオルなどがあります。大船渡市と特産品相互取扱協定を結ぶなど、その他にも多数特産品が、ふるさと納

税のお礼品になっていますので、一度チェックしてみてください。

(<https://furusato-izumisano.jp/>)

ここで、現在派遣先の熊本県宇土市の絶景スポットも紹介したいと思います。それは、日本の渚百選・日本の夕日百選にも選定された御輿来海岸(おこしきかいがん)で、潮の干満差が日本一の有明海に面した海岸です。潮が引くと美しい曲線美の砂紋(砂干潟)が浮かびあがり、神秘的な景色を創りだします。また有明海を挟んだ対岸には、長崎県雲仙普賢岳が望めます。

機会があれば是非、熊本へもお越しください。





派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。



**田中 準二さん**  
(大阪府泉佐野市)

【派遣先(期間)】大船渡市 災害復興局土地利用課 (H26.4.1～H27.3.31)  
【現在のお仕事】健康福祉部国保年金課 (大阪府後期高齢者医療広域連合へ派遣)



### 【派遣を終えて一言】

1年という短い期間もあってか『応援』とか『支援』には程遠く、逆に多くのことを学ばせていただいた『研修生』のようであったこと、この場をお借りしましてお詫びするとともにお礼申し上げます。住まいであった応急仮設住宅のご近所の皆さま、地域の皆さま、そして大船渡市の職員の皆さまには、本当に温かく接し支えていただいたことが一番の思い出と印象で、大阪に戻ってしばらくはホームシックにかかったような状態でした。大船渡をあとにして2年近くが過ぎようとしています。新聞やテレビニュースで「東北」「岩手」「三陸」という地名を目にし、耳にすると、自然と目を留め、耳を傾けてしまいます。震災発生から6年を迎えようとしています。しかしながら、まちの復興、人々の暮らしの復興は道半ばで今しばらくはかかるでしょうが、私はこれからもずっと第二のふるさと「大船渡」の復興を応援しています。

### 【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

大阪府の南部に位置する泉佐野市は、三陸沿岸から臨む雄大な大海原「太平洋」ほどではありませんが、太平洋のかけり「大阪湾」に面し、背後には紀伊山地系列の和泉山脈につながる海あり・山ありのまちです。昔から大きな自然災害に見舞われることもなく“ぼちぼち”発展してきた一面と、市域に空港が設けられ急激に変わってしまったという一面が混同しているアンバランスさが以外と心地いいところです。大阪にお越しの際は、ちょっと足を延ばして泉佐野まで！ 朝日を臨む三陸海岸からの絶景も壮大ですが、大阪湾に面した「マールビーチ」と名付けられた海岸からの太平洋に沈んでゆく夕焼けもいいものですよ。ぜひ泉佐野へ おこしやす!!

## 岩手県市町村課から

応援職員や任期付職員として全国各地から岩手県の被災市町村に赴任して下さった皆様、本当にありがとうございます。

東日本大震災津波から5年の月日が流れましたが、本県では、今まさに復興事業が正念場を迎えており、まだまだたくさんのマンパワーを必要としている状況です。4月から、あるいはもっと以前から、復興の最前線で御活躍されている皆様に、重ねて感謝申し上げます。

これまでと仕事の進め方が違ったり、方言が分からなかったり、生活環境や気候も変わったりと、様々な御苦勞をされていることと思いますが、この**KAKEHASHI** (5～12月毎月発行)には、そうした皆様の貴重な体験談もたくさん掲載していきますので、参考にしていただければ幸いです。

また、いわてには、海、山、温泉、さらには世界遺産などの観光スポットや、いわて牛や三陸海岸のウニ・ホタテなどなどのおいしい食材もたくさんありますので、この機会に、ぜひぜひ、堪能し尽くして、「いわてライフ」を満喫してください。

皆様にとって、「いわてライフ」が公私ともに充実したものとなるように、市町村課としても精一杯のサポートをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

岩手県政策地域部 市町村課総括課長 石田 知子

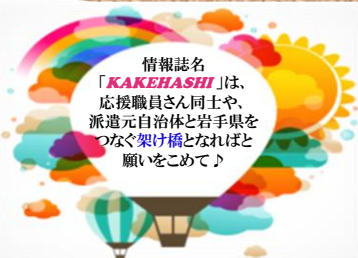
### ★ 応援職員相談窓口のご案内 ★

応援職員の皆様が慣れない環境の中で可能な限り円滑な業務遂行を行い、より良い執務・生活環境を確保できるよう、常時受付する相談窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。

メール:FA0052@pref.iwate.jp TEL:019-629-5236

### 発行元連絡先

岩手県政策地域部市町村課  
調整担当  
メール:FA0052@pref.iwate.jp  
TEL:019-629-5236



情報誌名「**KAKEHASHI**」は、応援職員さん同士や、派遣元自治体と岩手県をつなぐ架け橋となればと願いをこめて♪